

日赤福島県支部による被災学校支援に対する学校の先生・生徒・児童からのコメント

1. 福島県立小高工業高等学校

小高工業高校は、南相馬市小高区の学校の所在地が避難指示解除準備区域内にあるため、南相馬市原町区の仮設校舎で授業を続けています。

(1) 学校支援事業の開催実績

- ① 2012年12月10日：被災高校支援ライブ「園山バンド」
- ② 2013年10月17日：音楽鑑賞「東京プラススタイル」
- ③ 2014年10月16日：音楽鑑賞「1966カルテット」
- ④ 2015年10月15日：お笑いライブ「みちのくボンガーズ」

(2) 芸術鑑賞「みちのくボンガーズ」に関する生徒の反応、感想など（ご担当の先生のコメント抜粋）

「お笑い」というジャンルをじかに鑑賞できたことに新鮮味を感じていた様子です。「TV やラジオで今後も応援したい」「自分も勇気を持って物事に取り組みたい」という言葉も聞かれました。

今回の芸術鑑賞も市の体育館を借りての実施でしたが、学校施設そのものに不足面が見られる気がします。（教室数、視聴覚機材など）

可能であれば、次年度以降も引き続きのご支援をお願いします。

2. 川内村立川内小学校・中学校

川内小学校・中学校は、東日本大震災、福島第一原発事故の影響を受け、2011年4月に郡山市にて他校の校舎を借りての授業を行っていましたが、2012年4月より川内村にて再開しました。

(1) 学校支援事業の開催実績

- ① 2014年11月13日：音楽鑑賞教室「東京プラススタイル」
- ② 2015年7月16日：音楽鑑賞教室「打楽器エンターテイメントファンクション演奏会」

(2) 音楽鑑賞教室「打楽器エンターテイメントファンクション演奏会」での生徒・児童たちの感想（抜粋）

- テレビなどで聞くより、生のパフォーマンスはとても良かった。
- ゴミ箱を使った演奏、シンバルを使ったパフォーマンスがとてもかっこいいと思いました。
- テキーラは、みんなが演奏に参加することができて、とても良かった。
- とても楽しくて、ずっとニコニコしながら見ていました。本当にすごく、文化祭では、ファンクションのような演奏をしたいと思いました。
- 一回も間違えないで、みんなと合せていたのすごいいいと思いました。また来てほしいです。
- 様々な楽器を使って明るく演奏したり、手拍子など自分たちもやったりと、とても楽しかった。



(3) ファンクションを鑑賞しての生徒の反応、感想など（ご担当の先生のコメント抜粋）

どの生徒も、とても楽しそうに鑑賞していました。震災後に途絶えていた行事が一つひとつ復活し、ほぼ震災前と同じような活動ができるようになりました。しかし、生徒数減少により、文化祭が午前中のみで開催となっています。外部との関わり（今回のような音楽鑑賞を含めて）が少なく、様々な刺激を受ける場面が不足しているように感じます。

3. 檜葉町立檜葉中学校

檜葉中学校は、東日本第震災とその後の原子力発電所事故によって避難し、現在は、いわき明星大学敷地内のプレハブ校舎で授業を続けています。2017年4月には、すでに完成した檜葉中学校で、学校を再開することになっています。

(1) 学校支援事業の開催実績

- ① 2013年11月21日:鑑賞教室「デュオ・エスペランサ」トーク&コンサート
- ② 2014年11月14日:演劇鑑賞「夏の庭」
- ③ 2015年11月30日:演劇鑑賞「永遠の夏休み」

(2) 演劇鑑賞「永遠の夏休み」での生徒たちの感想（抜粋）

- 今日見た「永遠の夏休み」は、1人の友の死から他の3人が友情を深めながらも友のことを一生忘れなかったというところに、とても感動しました。
- 「永遠の夏休み」を見て、とても迫力があってすごいと思いました。この物語は、友達のことを思ったり、友達との友情がさらに深まって行くところに感動しました。私も友達のことを思っていきたいと思います。
- 一人一人が雰囲気合った、感情の細かいところまで表現していたところがすごいと思いました。その感情が心にすごく残りました。
- 道具が少なく不思議に思っていましたが、道具が少ない分色々な人の気持ちを考えることができ、とてもおもしろかったです。ありがとうございました。

(3) 「永遠の夏休み」を鑑賞しての生徒の反応、感想など（ご担当の先生のコメント抜粋）

演技のすばらしさが生徒に十分伝わったと思います。また、「永遠の夏休み」のテーマをしっかりと受け止められた生徒が多かったように思います。

移動、準備、演技、片付けの繰り返しは、本当に大変だと思いますが、劇団の方の笑顔が素晴らしかったです。

檜葉中学校も、双葉郡の他の学校同様、未だに十分とは言えない環境にあります。また、これまでごく当たり前だった自然との触れ合いも思うにまかせません。

2014年の広島の大規模土砂災害の時に、一人の生徒の発案で、全校生でタオルを集め、被災地に送りました。今まで支援を受けるのが当たり前でしたが、これからは少しずつでも恩返しができると思います。そのようなチャンスがあると生徒も一歩前に進めるのではないかと考えています。

4. 浪江町立浪江小学校・津島小学校

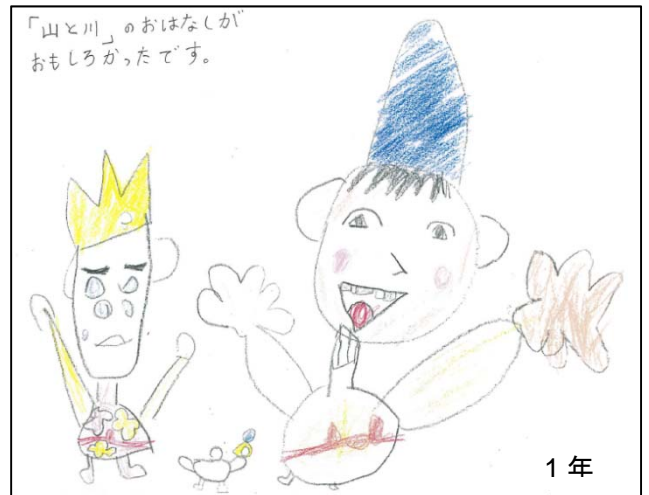
浪江小学校、津島小学校は所在地がそれぞれ避難指示解除準備区域、帰還困難区域にあり、児童たちは二本松市の旧校舎を借りて授業を続けています。

(1) 学校支援事業の開催実績

- ① 2014年9月18日：演劇鑑賞「オズの魔法使い」
- ② 2015年9月29日：演劇鑑賞「オペレッタ／朝鮮の民話より」

(2) 演劇鑑賞「オペレッタ／朝鮮の民話より [山と川] [トケビにかかったパウイのお話] [金剛山のトラ退治]」での児童たちの感想（抜粋）

- 心にのこったのは、とらたいじのおはなしです。おとうさんがとらにたべられてしまったけど、子どもがなんねんもてっぼうのれんしゅうをして、さいごとらをやっつけたので、とても「すごいなあ」と思いました。(2年)
- 私が劇を見て心に残ったところは、トラたいじに行ったとき、いち番大きいトラに食べられてしまい、そこからだっしゅつしたところです。必ずもどるといふ気持ちが強く心に残りました。(5年)
- ぼくがおどろいたのは、トケビ(注：韓国の妖怪)がぐんぐん伸びて体育館の天井にとどきそうになったことです。あれはどういうしかけなのか知りたいです。いち番おもしろかったのは、鉄ぼうのたまが飛んで落ちていく時の音がぴたり合っていたことです。的に命中して、パタッと落ちるのがおもしろかったです。(5年)



(3) 「オペレッタ／朝鮮の民話より」を鑑賞しての児童の反応、感想など（ご担当の先生のコメント抜粋）

子どもたちは、今回来られる劇団ともしびさんの中に、浪江町出身の方がいると聞きお会いするのを楽しみにしていました。また今回の劇は、日本のお隣の国、韓国・朝鮮の民話や神話だということで小学生には馴染みやすい内容でよかったです。

二本松市に再開(2011年8月)してから、行事につきましては、地域の特性に合った形で‘内容’を改善・工夫してきました。子どもたちにとっても‘行事’は楽しみの一つであるし、豊かな心と体を育成できるものであると考えています。

学校生活につきましては、児童数は少なくなりましたが、少人数を生かした教育活動を工夫・実施しています。子どもたちは、明るく元気に登校しています。

日本赤十字社福島県支部さんのご支援に感謝いたします。ありがとうございました。